

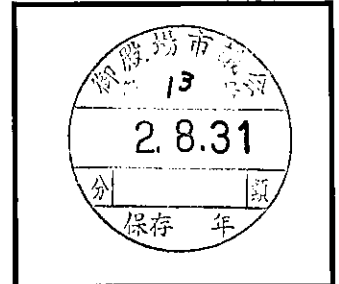
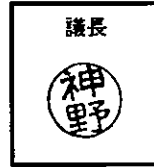
発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。

令和2年 8月31日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 19番 辻川 公子



15時33分

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項1 鳥獣被害の実態と問題点及び課題について

具体的内容 近年、演習場周辺のみならず里山にも、鹿、猪、ハクビシン等による農産物被害が拡大している。急速に加速する担い手不足や解体処理・加工施設の課題と鹿や猪の肉や皮の有効活用による街興しについて伺う。

質問

- 1 増える鹿や猪、減少するハンターの現状とその課題策について
- 2 獣害捕獲の効率改善について
- 3 解体処理の実情と新たな地場産品の創出のプロセスについて
- 4 人と野生動物の共生出来る豊かな森づくりについて

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項2 病児保育の実現と保育のお昼寝について

具体的内容 子育て中の親にとり、保育園での子どもの発熱等の病気は重要な課題である。現在、御殿場市では病後児保育は4園の私立保育園で実施している。現在1私立園で実施されている病児保育を他の園にも拡大していくため、諸施策の拡充は重要である。年中・年長園児の園でのお昼寝は様々な課題がある。子どもが早寝早起きの習慣付けのためにもお昼寝の見直しについて伺う。

質問

- 1 病後児保育の現状と病児保育の課題について
- 2 病児保育実現の条件と費用対効果について
- 3 大規模保育園での持病と病児対応可能な保健室機能強化について
- 4 お昼寝の現状と課題及びお昼寝の見直しについて